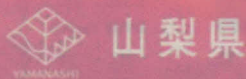


危機への備えと、
挑戦を両立する。
攻めのBCPを、
山梨県で。

BCP対策窓口を一元化



やまなし
防災バックアップ
サポートデスク
はこちら



山梨は、
挑戦と近い。
未来と近い。
TRY! YAMANASHI!

発生が危惧される 首都直下地震

山梨県は、
東京と隣接しながら、同時には被災しない*
震度3以上の地震の回数や水害被害も関東ブロック内で最少* など

たぐい稀なる強みやリソースなどを活かし

オール県庁体制で、ワンストップ対応！

専任のサポートコンシェルジュが、立地先の選定に係るご相談や
移転・進出に係る資金調達、通信・電力等の確保など様々なご相談を
一元的に受け付けます。

守りに、攻めに
企業に寄り添うパートナー
山梨県



やまなし防災バックアップ



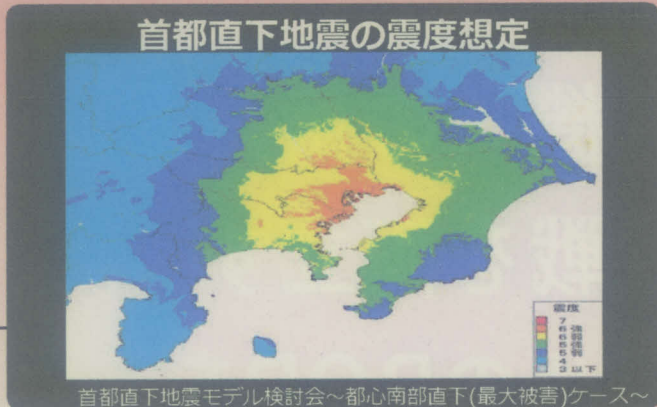
※首都直下地震モデル検討会報告書における最大被害想定（都心南部直下）ケースで、山梨県の大部分は震度4程度
※気象庁震度データベース（1919年1月1日～2021年12月31日）、国土交通省水害統計調査（H11～H30）より



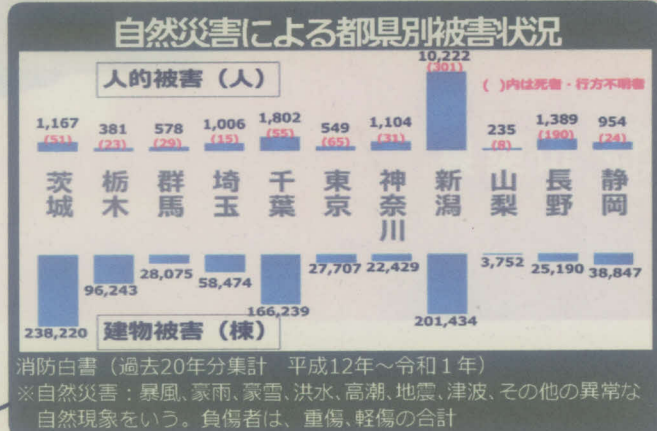
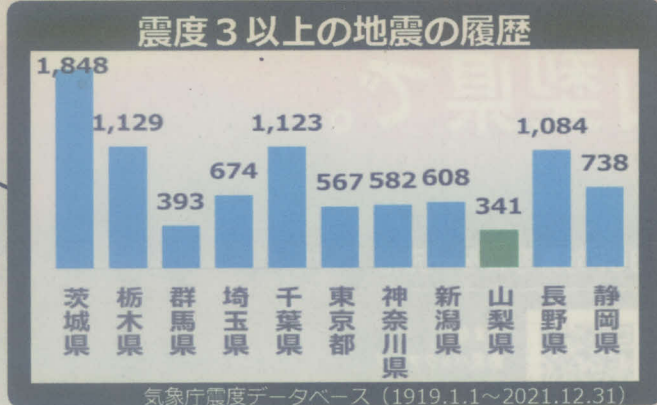
首都直下地震 東京は最大震度 **7**

埼玉・神奈川・千葉で最大震度 **6強** の想定

山梨はほとんどの地域で震度 **4** 想定

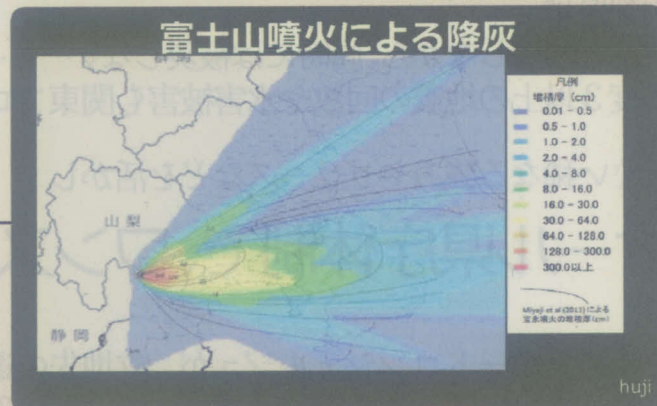


過去100年の有感地震(震度3以上)
山梨県の341回は関東ブロック最少



過去20年の自然災害
山梨県の被害額は関東ブロック最少

富士山噴火による火山灰、上空の風により
山梨県は影響が少ない可能性が高い



ここで紹介している内容は、山梨の強みのほんの一部です。
山梨には他にも強みや、企業活動にも有益なリソースなどがたくさんあります。

「BCP対策はもちろんしたい」
「でも、リスクが高いのは分かっているけど、東京圏は離れられない…」

このようなことにお悩みの方は、ご相談ください。
山梨県は、企業の皆様のBCP対策の受け皿としての移転などのご相談を、ワンストップの窓口で受け付けています。

やまなし
防災バックアップ
サポートデスク



【区域施策編】山梨県地球温暖化対策実行計画～やまなし発GXの推進～（概要）

令和5年3月

背景

- 気候変動に伴い、豪雨災害等が激甚化・頻発化、今後、地球温暖化の進行により強度と頻度が増加する恐れ
- パリ協定を契機として、世界的に脱炭素化の取組が加速し、国も温室効果ガス排出削減目標を大幅に引き上げ
- 太陽光発電の無秩序な導入の急拡大に伴う安全面、防災面、景観面等に対する地域の懸念の高まり

本県の強み

- 全国有数の日照時間、豊富な森林・水資源を有する再生可能エネルギーの宝庫
- P2Gシステムの開発・実証等に全国に先駆けて取組んでいる水素利活用のトップランナー
- 県土の78%を占める森林に加え、4パーミルイニシアチブによる土壌への炭素貯留といった高いCO2吸収ポテンシャル

基本方針

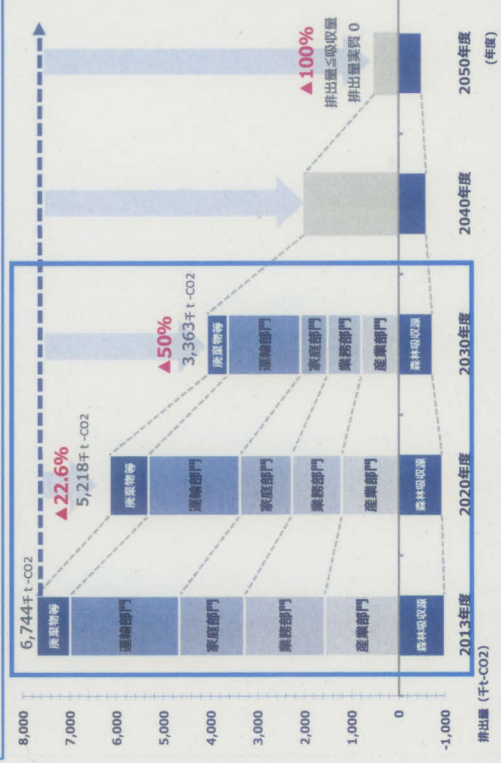
- 本県の特性を生かしたグリーンエネルギー中心の経済・社会、産業構造への転換
- 脱炭素の取組を通じた本県のブランド価値向上と成長力の強化
- 将来にわたり地域の豊かな自然と人が共生する、持続可能な社会の実現

目標

- 2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、以下の目標を設定

1. 温室効果ガス排出量削減目標（2030年度 50% 削減）

2013年度 6,744千t-CO2 ⇒ 2030年度 3,363千t-CO2 (▲50%)
 内訳（エネルギー起源CO2 ▲47%）
 産業部門：▲50% 業務部門：▲58% 家庭部門：▲59%
 運輸部門：▲33% 廃棄物部門：▲28%



2. 再生可能エネルギー導入目標（2030年度 45% 増加）

2020年度 1,215MW ⇒ 2030年度 1,756MW (▲45%)

内訳
 太陽光：+ 75% (10kW未満 + 184%, 10kW以上 + 47%)
 中小水力：+ 1% パイオマス：+ 35%

3. 最終エネルギー消費量削減目標（2030年度 30% 削減）

2013年度 79,076TJ ⇒ 2030年度 55,139TJ (▲30%)

施策の方向性と主な内容

- 以下の施策の方向性のもと、あらゆる施策を総動員し、脱炭素化を推進

第1. 脱炭素でレジリエントなエネルギー構造への転換	1. 再エネの更なる導入	【太陽光】▶屋根置き太陽光や駐車場等への導入促進 ▶野立て太陽光の適正導入・維持管理 【その他】▶小水力や木質バイオマス・ごみ発電等の導入促進
第2. グリーンかつスマートな経済社会システムへの転換	2. 再エネの地産地消の拡大	▶蓄電池、ヒートポンプ式給湯器、V2X等の普及促進 ▶卒FIT電力を活用した地産地消の推進 等
第3. 温暖化対策を通じた地域の高付加価値化	3. 電力供給体制の強靱化	▶事前伐採等の推進▶地域マイクログリッドの導入検討
第4. 各主体によるGXへの参画	1. 脱炭素で豊かな暮らしへの転換	▶太陽光・蓄電池の導入促進▶省エネ型住宅・家電の普及促進 ▶環境にやさしいライフスタイルの推進や環境教育の充実
	2. 産業部門の脱炭素化による競争力強化	▶排出抑制計画を通じた排出量の見える化・ESG投資の推進 ▶省エネ診断、省エネ型の設備・機器及び建築物の普及促進
	3. 業務その他部門の脱炭素化による地域の魅力向上	▶屋根置き太陽光やオフサイトPPA、再エネ電力調達等の推進 ▶デジタル化を通じた事業の生産性向上による省エネルギー化の推進
	4. 交通・物流のグリーン化	▶次世代自動車(EV,FCV,PHV等)の普及促進 ▶充電設備の整備 ▶公共交通・自転車利用の推進及び環境整備
	5. 廃棄物等の発生抑制と適正処理	▶公共交通システムの基盤づくり ▶自動車環境基本計画を通じた排出量の見える化・ESG投資の促進
	1. 水素社会の実現	▶3R + Renewableや再生利用等の推進▶P2G類の適正管理
	2. 吸収源対策の充実	▶P2Gシステムの開発・導入及び区域での面的利用 ▶国内外への展開▶水素・燃料電池関連産業の育成
	3. 気候変動への積極的な対応	▶森林整備・県産木材利用の推進▶カーボンオフセットの推進 ▶4パーミルイニシアチブ推進による農産物の高付加価値化 ▶野生鳥獣害対策や生物多様性保全に向けた取組の充実
	4. 気候変動に伴うリスクに対する強靱化	▶脱炭素関連のイノベーション創出▶脱炭素に資する都市の形成 ▶農林水産業の技術開発・研究の推進
		▶災害対策の強化▶エネルギーシステムの強靱化 ▶感染症対策の強化
	1. 県民一人一人の行動変容の促進	▶あらゆる機会を通じた働きかけの実施▶事業者と協働した運動の展開
	2. 事業者の積極的な取組の推進	▶会議体を活用した率先的な取組の推進▶脱炭素経営の推進
	3. 市町村による取組の促進	▶市町村の事務事業や区域の脱炭素化推進▶脱炭素先行地域づくり

山梨県ロゴマークのご紹介！



YAMANASHI

山梨県誕生150年

令和3年11月、山梨県誕生150年を記念した

新しい山梨県のロゴマークです。

(https://www.pref.yamanashi.jp/sinchoku/kenmin-eki/021/logo_eiyoutfml)

山梨県 観光・文化 観光振興課 企画・NPO担当
電話 055-223-1350 E-mail: kenmin-eki@pref.yamanashi.jp

山梨県ロゴマークをご活用ください！



YAMANASHI



山 梨



やまなし

四角錐にデフォルメした富士山の右側には新緑の山々を、左側には県土に流れる清流とぶどうの紫色のデザインで自然豊かな山紫水明の山梨を表現しています。

令和3年11月に誕生150年を迎えることを記念し、新たに山梨県のロゴマークを作成しました。

どなたでも御利用いただけますので、パッケージや商品にロゴマークを活用して山梨をアピールしてみませんか。

○使用料は無料です。

○使用に当たっては申請が必要になります。

詳しくは県民生活総務課にお問い合わせください。

県HPでも使用方法をご覧ください。 →



(https://www.pref.yamanashi.jp/shinchaku/kenmin-skt/0211/logo_siyou.html)

山梨県 県民生活部 県民生活総務課 企画・NPO 担当

電話 055-223-1350 E-mail : kenmin-skt@pref.yamanashi.lg.jp